

中部部長通信 8月号

例年以上の猛暑がこの何日か続いています。新しい年度に入ってもう一か月、各クラブとも7月の年次総会を終え、新たな第一歩を踏み出したところと思います。

中部のこの一か月にも色々な動きがありました。その第一は、交流、Yサの各事業でした。交流事業では、四日市クラブ大西ワイズのコメントの慎太郎君がケニアに派遣されます。STEPは西日本区では4年ぶりのことです。これまではどちらかといえば先進国志向が強く開発途上国への男子学生ではほぼ初めてのことです。大西慎太郎君のケニアでの研修成果を大いに期待したいものです。四日市クラブでは、7月19日に、成瀬理事、石田交流就任、下村Yサ主任も出席し盛大に壮行会が開かれました。中部としては、川本交流主査より激励の言葉と共に激励金を贈呈しました。なお、この壮行会で同時に四日市クラブは2名の入会式を行いました。EMCとしても喜ばしいことでした。

第二に、Yサ、ユース事業では8月のノルウェーでのユースコンボケーションにグランパスクラブの故坂倉洋ワイズのコメントが参加することに決まりました。中部としてもうれしい限りで、交流の大西君と同様に激励金を贈呈しました。故坂倉洋君は中部の皆さんなら殆どご存知かと思いますが、グランパスクラブでの活躍だけでなく、中部でも色々な役を果たされ今後も大いに期待されるワイズでしたが、昨年急逝されました。天国で坂倉洋君もご子息の活躍を見守っているだろうと思うと感慨深いものがあります。

その他では以下のような動きがありました。

I. 7月の大きなニュースは九州部の豪雨被害に関することでした。大地震災害の復興をと、ワイズ一丸よなっている折、九州、特に阿蘇でご不幸に見舞われ、中部としても、Yサ主査等と連絡を取り合い支援の仕方を考えているところです。ワイズ、あるいはYMCあ全体としては、すでに経ちあがっています。

II. 各クラブより色々な、情報、声威嚇が寄せられていますが、各クラブで会長さんを中心に色々連絡を取り合い、楽しいプログラムを実施していけたらいいな、と思います。

III. 中部部会、評議会、メネットアワーなどに関しては、南山クラブを中心に計画進行中です。申し込み締め切りも7月31日で目下集計中です。多数のワイズメンの出席の元、楽しい会にしようとしてホストクラブの南山クラブでは、7、8月は毎週木曜日を例会日にして検討しています。

iv. 西日本区大会の準備会もようやく軌道に乗りかけ、7月13日には、拡大実行委員会持たれ各員会ごとに分かれ実行的な懸案の協議にはいりました。7、8月はそれぞれの委員会で会場視察などを行います。

これからも今年は猛暑が続きそうですが、中部部会での元気な皆様と野再開を心待ちしています